

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2003.06.4

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）倉橋（西大寺南）三辻（彦崎小）松本（国府小）福井（伊島小）

【ジャコウアゲハ】石浦

早起きは三文の得ということわざがありますが、静観台では早く例会に来ると三文以上の得があります。この時季の7時はまだまだ明るく、黄金に輝く小麦の穂やクリーム色の栗の花が見られます。ウマノズクサにはジャコウアゲハの幼虫や蛹がいます。幼虫はトゲトゲの奇妙な形ですが、成虫はクロアゲハによく似ているそうです。三辻先生は子供さんへのおみやげに丸々太ったカブトムシの幼虫を頂いていました。



【カイコは夏蚕がよい】福井

3月末に孵ったカイコの春蚕が成虫になって卵を産み、6月には夏蚕になりました。ここから1月半で次の生命のサイクルが見られます。4月の新学期で忙しく、おまけに桑の葉も出ていない時季に無理矢理飼育させるより、教材を入れ替えてでも条件の良い6月に観察する方が無理がなくて良いと思います。モンシロチョウも6月に生まれた卵を育てる方がいいですね。



【自学ノートファイル・先生のいない日の学級通信】高松

自主学習のノートをコピーしたファイル。金曜日の宿題には自主学習だけを出すそうです。学習したことはノートの見開き2ページにまとめさせます。このように書式をそろえておくと児童のまとめる力が育つとともに印刷してみんなに紹介する時にも便利です。高松先生持参のファイルはきれいで内容も深く、みなさんの垂涎的でした。これは優れた手本です。もう一つの先生が出張でいない日に子供達が代わりに書いている通信もとても楽しく読みごたえがあります。すごい学級経営です。



【4年生 電気のはたらき】松本

4年生の電気の働きの単元を豆電球だけで通そうというプランの最新版です。前回までは面白い素材がテンコ盛りだけど相互の関連が薄いという印象が否めなかったのですが、今回ははずいぶん改良されています。特に昔の指導書を調べて豆電球・電池の直列・並列つなぎを復活させたのは温故知新でいいですね。なぜ新しい指導書ではなくなったのか原因を調べて対策を講じるようにしていきましょう。

【6年生 動物の体のはたらき】三辻・高松・福井

実験をともなう問題解決的な単元として成立しにくい『動物の体のはたらき』ですが、付箋紙による課題作りやフンの顕微鏡観察などで今のところ大いに盛り上がっています。ただこの先、人体の奥深くについて探究を進めようとする、どうしても間接情報に頼らざるを得ない。いろいろとアイデアを出し合ってもなかなか良い方法は見つからず、結局、(株)ベネッセの幼稚園年中向き通信教育『こどもちゃれんじすてっぷ』2002年10月号がとても分かり易くて良いということに…。しかし、6年生の学習内容は5歳児にでも理解できる程度のことかと少しがっかりです。他にはNHK教育6年生理科『3つのとびら』のデジタルコンテンツと東京書籍のビデオがけっこう使えそうです。